

1. 2 微生物部

令和4年度は、感染症発生動向調査事業（患者発生情報、病原体情報）、試験検査（感染症、食中毒、感染症発生動向調査に関する病原体検査等）を行った。

調査研究は、「行政検査陰性検体に係る病原体検索」を行った。

試験検査業務における検体数及び項目数について、表1に示す。

1. 2. 1 感染症発生動向調査事業

(1) 患者発生情報

一類感染症から五類感染症までの全疾病について、発生状況に関する情報を迅速に収集・解析し、各関係機関及び県民に、鹿児島県感染症情報（週報、月報、年報）として提供することにより、感染症の予防及びまん延の防止に努めた。

(2) 病原体情報

県内の指定提出機関（31か所）から提供された検体について、対象疾患別に病原性細菌並びにウイルスの検索を行った（表2）。

表1 試験検査実施状況

	行政依頼		一般依頼		調査研究		合計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
細菌								
感染症に関する検査	119	119					119	119
食中毒に関する検査	80	908					80	908
感染症発生動向調査事業	4	28					4	28
ウイルス								
感染症に関する検査	229	1158			15	62	244	1220
食中毒に関する検査	8	48					8	48
感染症発生動向調査事業	23	335					23	335
感染症流行予測調査事業	135	135					135	135
HIV検査	5	10					5	10
リケッチア								
つづが虫病等検査			337	1011	337	674	674	1685
その他リケッチア検査			337	337			337	337
寄生虫・衛生害虫等	5	5					5	5
合計	608	2746	674	1348	352	736	1634	4830

1. 2. 2 試験検査

(1) 細菌検査

細菌検査の実施状況について、表3に示す。

1) 感染症に関する検査（鹿児島市を除く）

三類感染症関連の行政依頼検査は、腸管出血性大腸菌感染症患者発生に伴う検査を行った。検査の内訳は、O157：3事例5検体（便3件、菌株2件）、O26：2事例5検体（便5件）、O111：1事例7検体（便7件）、O103：1事例4検体（便4件）、O121：2事例4検体（便4件）であった。

四類感染症関連の検査は、レジオネラ症患者発生5事例に伴う浴槽水52件、喀痰3件の検査を行った。また、1事例から検出された菌株12件についてPFGE（パルスフィールドゲル電気泳動）を実施した。

五類感染症関連の検査は、カルバペネム耐性腸内細菌感染症等の菌株15件であった。

その他の細菌検査は、サルモネラ菌2件と水道水の従属栄養細菌8件、医療機器の無菌試験2件を行った。

2) 食中毒に関する検査（鹿児島市を除く）

食中毒疑い事例として5件の行政依頼があり、80検

体の検査を行った（表3）。

3) 感染症発生動向調査事業

病原体定点医療機関から提出された検体について検査を実施した（表2）。

(2) ウイルス検査

1) 感染症に関する検査

保健所からの行政依頼の実施状況について、表5に示す。

2) 食中毒に関する検査

令和4年度の鹿児島市を除く鹿児島県内の食中毒発生状況は表4のとおりであるが、そのうちウイルス性食中毒疑いとして搬入された検体8件の検査を行った。

3) 感染症発生動向調査事業

病原体定点医療機関から提出された検体について検査を実施した（表2）。

4) 感染症流行予測調査事業

21～63歳を対象に新型コロナウイルス感染症の感受性調査を行った（表6）。

5) HIV検査

鹿児島県内14保健所におけるHIV検査受検者のう

表2 感染症発生動向調査事業検査結果

	検出病原体	令和4年										令和5年			合計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		上段：検査件数（陽性件数）／下段：検体数（陽性数）															
陽性検体の種類* ¹ と検出病原体数* ²																	
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH3												1 (1)	2 (2)	4 (4)	7 (7)	
														1 (1)	2 (2)	4 (4)	7 (7)
														咽1	咽2	咽4	咽7
感染性胃腸炎	アデノウイルス C コクサッキーウイルス A10				1 (1)								1 (1)			2 (2)	
					1 (1)								1 (1)			2 (2)	
					便1												便1
細菌性髄膜炎									1 (0)				1 (0)			2 (0)	
									1 (0)				1 (0)			2 (0)	
無菌性髄膜炎	パレコウイルス 3	1 (0)		2 (1)												3 (1)	
		2 (0)		5 (1)												7 (1)	
				髄1													髄1
脳炎	コクサッキーウイルス A6	1 (1)														1 (1)	
		4 (2)														4 (2)	
		咽1														咽1	
																血1	

*1 咽：咽頭ぬぐい液，髄：髄液。

*2 病原体は同一検体より複数検出されることがあるため，必ずしも陽性検体数とは一致しない。

(注) 突発性発疹，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，水痘，流行性耳下腺炎，急性出血性結膜炎，流行性角結膜炎，細菌性髄膜炎，感染性胃腸炎（ロタウイルス）は検体提出なし。

ち，迅速検査で判定保留となり，確認検査依頼があった5件について検査を行い，陽性が5件であった。

(3) リケッチア検査

1) 依頼検査

つつが虫病予防対策事業による抗体検査においては，337件の検査依頼があり，そのうちペア血清で検査を行ったものが75件であった。血清学的につつが虫の抗体価陽性が72件，日本紅斑熱の抗体価陽性が32件，ペア血清で陰性のものが19件であった。

(4) 寄生虫・衛生害虫等検査

1) クリプトスポリジウム等検査

「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針」及び「飲料水におけるクリプトスポリジウム等の検査結果のクロスチェック実施要領」（平成19年4月，厚生労働省）に基づき，加圧ろ過-アセトン溶解法にて，水道原水5件（深井戸1件・湧水4件）について検査を行い，陰性が5件であった。

2) その他の検査

県内医療機関よりレプトスピラ症の検査依頼が5件

あり，国立感染症研究所へ行政検査の依頼を行った。その結果，2件がレプトスピラ症と診断された。

1. 2. 3 精度管理

(1) 細菌検査

(一財)食品薬品安全センター主催の外部精度管理（一般細菌数測定検査），健康安全・危機管理対策総合研究事業（レジオネラ），食品の安全確保推進研究事業（MLVA），令和4年度厚生労働省外部精度管理事業（コレラ菌），パルスネット精度管理に参加した。

(2) ウイルス検査

令和4年度厚生労働省外部精度管理事業（新型コロナウイルスの次世代シーケンシングによる遺伝子の解説・解析，新型コロナウイルスの核酸検出検査），厚生労働省委託事業（新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査）に参加した。

表3 細菌検査の実施状況（鹿児島市を除く）

区 分		菌株	便	食品	拭き取り	水	その他	計
行政 依 頼	三類感染症関連	2	23					25
	四類感染症関連	12				52	3	67
	五類感染症関連	15						15
	その他の細菌	2				8	2	12
	計	31	23			60	5	119
細菌性食中毒検査			44	5	20		11	80
感染症発生動向調査			2				2	4
合 計								203

表4 食中毒発生状況（鹿児島市を除く）

発生 月日	発生地	摂食 者数	患者 数	死者 数	原因食品	病因物質	原因施設
令4. 6. 6	日置市	不明	1	0	不明	アニサキス	不明
令4. 7. 14	瀬戸内町	不明	16	0	7/13及び7/14に提供された弁当	サルモネラ属菌（O7群）	飲食店
令4. 7. 23	霧島市	110	77	0	うなぎ調理品（蒲焼き、白焼き）	サルモネラ属菌（O4群）	飲食店
令4.10.21	霧島市	3	3	0	シメサバ（推定）	アニサキス	家庭
令4.11. 8	鹿屋市	不明	4	0	11/5に提供された食事	カンピロバクター	飲食店
令4.12. 7	鹿屋市	不明	11	0	12/6に提供された食事	カンピロバクター	飲食店
令5. 3. 16	奄美市	不明	1	0	不明	アニサキス	不明
合計7件		113	113	0			
前年度計8件		2016	165	0			

（注）「発生地」は、原則として「原因施設所在地」を掲載。ただし、原因施設が不明の場合は、主な患者の発生場所を掲載。

（集計 生活衛生課）

表5 ウイルス行政依頼検査件数

疾 患 名	依頼数 (陽性数)	検体数 (陽性数)	検出ウイルス（検体数）
重症熱性血小板減少症候群 急性脳炎	50(9)	50(9)	SFTSウイルス(9)
	16(7)	55(10)	サポウイルス(1)、水痘一帯状疱疹ウイルス(4) ヒトヘルペスウイルス 6(1)、ヒトヘルペスウイルス 7(2) ライノ/エンテロウイルス(2)
風 し ん	1(0)	3(0)	
鳥 インフルエンザ	8(0)	8(0)	
新型コロナウイルス感染症	105(17)	105(17)	SARS-CoV-2(17)
エムポックス	1(0)	2(0)	
インフルエンザ	6(4)	6(4)	

（注）病原体は同一検体より複数検出されることがあるため、必ずしも陽性検体数とは一致しない。

（注）新型コロナウイルス感染症の依頼数・検体数は変異株スクリーニング検査を除く。

表6 新型コロナウイルス感染症中和抗体保有状況

年齢層(歳)	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
対象者数(人)	0	0	0	0	39	34	22	37	3	135
抗体保有率(%)	0	0	0	0	94.9	100.0	86.4	100.0	100.0	96.3